

県共闘

神奈川県共闘ニュース

発行 神奈川県労働組合共闘会議

住所 〒231-0028

横浜市中区鶴町1-5-14新見ビル4階

電話・FAX 045-319-4391

Twitter :@kanagawaroudou

2023年 10月 26日

第32号

第35回全労協大会開催される！

9月24・25日、全労協第35回定期全国大会が東京・大田区産業プラザPIOを会場に開催された。実に4年ぶりのリモート参加のないリアル開催である。会場には役員のほか、過半数を超える54人の代議員が出席。大会議長には全国一般と東京清掃の代議員が選出され議事が進行した。冒頭、渡辺議長の呼びかけで、今年6月に急逝された野中事務局長への黙とうを出席者全員で行った。来賓挨拶は社民党福島党首、新社会党加藤副党首、平和フォーラム藤本共同代表、中小政策ネット鳥井事務局長、移住連山岸事務局長、全労協金澤前議長の各氏からあり、連帯メッセージも紹介された。

経過報告は事務局長代行の中村常幹が、方針提起は同じく代行の藤本常幹が、会計決算報告・予算案提

案は久保事務局次長が、監査報告は渡辺監査委員が行った。その後、質疑・討論・報告に移り、2日間で21人の発言があった。その内容は、各地域・単組の活動・闘争報告、脱原発や最賃闘争の取組報告・意見など、なかでもJAL闘争について修正案提案はなかったものの、「全労協本体としてJAL闘争支援を取り組むべき」との意見・要望が6人の代議員からあった。これらに対し、渡辺議長は「JAL争議当該の分岐を受けての昨年の大会決定を変更はできない。」と答弁し、方針案採決の結果、原案が可決された。続いて決議案3本と大会宣言が全会一致で確認された。大会議事終了後、新体制の紹介があり、関口新事務局長より就任の挨拶・決意表明があった。最後は団結ガンパローを全員で三唱し、

二日間の大会が成功裏に終了した。JAL争議は今も30名を超える被解雇者が闘いを続けている、全労協の協議体としての判断は今大会でも示された。神奈川県共闘としては、JAL争議支援はこれまで通り続けていく！とともに、今大会で確認された、最賃闘争、反戦平和運動、反原発運動等を力強く進めていきたい。【今大会には川端常任幹事（県共闘議長）、小内代議員（同事務局長）が出席した。】



【行動参加のご案内】

———県共闘レク———

「ボウリング大会に行こう！」

日時 11月16日（木）

ゲーム開始 19時15分～

場所 横浜ヤングボール（日ノ出町）

———県共闘学習会———

テーマ

「反戦平和をともに考える

川崎市・平和館を見学会しよう。」

日時 11月25日（土）

14時～15時ころ～

場所 川崎市平和館

———JAL本社情宣———

「JAL争議の早期全面解決を目指す———本社大包围行動———」

日時 12月22日（金）

18時30分～

場所 天王洲アイル JAL本社前

2023年10月から全国の最低賃金が変わりました。神奈川県は、41円アップの1112円になりました。時給の確認を！時給1112円以上でなければ違法となります。

今年は昨年以上に最賃がアップしましたが、物価高騰には追い付きません。私たちは、全国一律1500円を目指しています。ともに声を上げていきましょう！

2023年度の最低賃金額

全国加重平均

1004円

□=Aランク(+41円) =1000円台
 □=Bランク(+40円) =900円台
 □=Cランク(+39円) =800円台
 (カッコ内は引き上げ額目安)

| | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|------|------|------|------|-----|-----|------|------|-----|
| | | | | | | | | | | 北海道 | 960 |
| | | | | | | | | | | 青森 | 898 |
| | | | | | | | | | | 秋田 | 897 |
| | | | | | | | | | | 岩手 | 893 |
| | | | | | | | | | | 山形 | 900 |
| | | | | | | | | | | 宮城 | 923 |
| 山口 | 島根 | 鳥取 | 兵庫 | 福井 | 石川 | 富山 | 新潟 | 福島 | | | |
| 928 | 904 | 900 | 1001 | 931 | 933 | 948 | 931 | 900 | | | |
| | | 広島 | 岡山 | 大阪 | 京都 | 滋賀 | 長野 | 群馬 | 栃木 | | |
| | | 970 | 932 | 1064 | 1008 | 967 | 948 | 935 | 954 | | |
| 長崎 | 佐賀 | 福岡 | | | 奈良 | 愛知 | 岐阜 | 山梨 | 埼玉 | 茨城 | |
| 898 | 900 | 941 | | | 936 | 1027 | 950 | 938 | 1028 | 953 | |
| 熊本 | 大分 | 愛媛 | 香川 | | | 和歌山 | 三重 | 静岡 | 神奈川 | 東京 | |
| 898 | 899 | 897 | 918 | | | 929 | 973 | 984 | 1112 | 1113 | |
| 鹿児島 | 宮崎 | 高知 | 徳島 | | | | | | | 千葉 | |
| 897 | 897 | 897 | 896 | | | | | | | 1026 | |
| 沖縄 | | | | | | | | | | | |
| 896 | | | | | | | | | | | |

「原発、脱炭素・再生エネルギーを！ ワタシのミライ代々木公園集会開催！」



（舞台ではテーマトーク開催）

9月18日「さよなら原発1000人委員会」と「私の未来」の共催で、脱原発をはじめ脱炭素、再エネ100%の社会を求める集会在、代々木公園で行われました。まだ残暑が残る公園には、8千人が集まり、「さよなら原発！汚染水流すな！ミライに原発はいらない再生エネルギーを！」とその思いを訴えました。集会は、音楽ライブから始まり、「原発問題・気候変動とどう向き合うか」「市民が声を上げること」「脱原発・気候変動運動のこれから」そして最後に「ワタシにとってのミライ」と題し、ディスカッションが2時間30分行われました。

出演した鎌田さん（さよなら原発）は、汚染水を処理水とマスコミが統一報道する。汚染水を平然とこの先30年以上流し続ける。私は原発反対、核からの脱却こそ真の平和。頑張りましょう。と話す。

また、小暮さん（元京大原子力研究所）は、政府が発した緊急事態宣言は12年経っても解除されない。福島の大変な状況は終わっていない。汚染水は海に流さなくとも加工や東電の敷地内でいくらかでも処理できる。岸田首相は漁民の理解を取らないで海洋投棄を強行した。IAEAのお墨付きをもらったから安全。沢山の嘘政府と東電はついている。と話す。

そして共催団体の一つで気候危機を呼びかける川崎さん（Fridays For Future Tokyo）は「原発事故と同じように、世界では気候災害で住まいを追われる人が増えている。今後、年代やジェンダーにとらわれず、いろいろな人の声を集めた運動にしたい」と話した。今回のテーマトークでは多くの方がスピーカーとして参加していました。会場には、思い思いのデコレーションで参加した仲間もおり、パレードも華やかな雰囲気、待ち行く人々にアピールできました。今からでも遅くない。脱原発をはじめ脱炭素、再エネ100%の社会を共に求めよう！

原子力空母母港化撤回を求める！

10月5日、横須賀ベルニー公園で

「米空母母港化50周年抗議！」全国集会在開催された。主催は神奈川平和運動センターほか、県内外から労働者・市民750人が結集。県共闘もこれに参加した。連帯挨拶では、社民党福島党首などから、原子力空母が地元への危険の元凶であること、その空母艦載機の爆撃により膨大な殺戮が行われ続けてきたこと。安保三文書改訂、オスプレイ配備、南西諸島軍事拠点化、ノースドック軍事利用、等々。この国が「戦争をする国」へ向かっている今、我々の運動はより重要性を増しその強化が求められているとの発言があった。集会終了後は恒例の米海軍ゲート前抗議行動を含むデモ行進をしてこの日の行動は終了した。



（横須賀・ベルニー公園にて）

「カスタマーハラメント」の実態/ 事例研究会参加報告

9月25日、労働相談事例研究会が神奈川労働プラザで開催されました。研究会では、主催者あいさつから始まり、山岡弁護士から基調報告「カスタマーハラメント」について行なわれました。この「カスハラ」とは顧客や取引先という立場の優位性を盾に悪質な要求や理不尽なクレームを行う行為のこと。例えば、「従業員や店舗スタッフに、無理難題や謝罪を大声で求める」「店にきて謝罪を求める」「ネットに酷評を書き込む」など、利用者や利用客からの脅し。セクハラやパワハラから比べると認知度が低く、労働者個人が責任を負わされている。企業が対策やマニュアルの作成。労働者を守る体制などが必要。また労働相談を受ける私たちもカスハラを学習し対応策を考えておく必要がある。と報告がありました。その後、参加各団体からの活動報告や相談事例報告をもとに意見交換が行われ、充実した約2時間の研究会は終了しました。パワハラ、セクハラにつぐ「カスハラ」も許されません。安心して働ける企業、社会を求めましょう。

全国一般神奈川第26回定期大会開催

2024春闘方針確認

9月17日、私たち全国一般神奈川は、かながわ労働プラザホールで第26回定期大会を開催しました。3年ぶりに人数制限を行わず、会場には約50人が集結。来賓として、全国協の平賀委員長、全国一般三多摩労働組合の米山執行委員、県共闘の川端議長、がくろうの小内さん、寿日労の近藤さん、JAL争議団の下村さん、白井さん、弁護士島崎さん、穂積さんにご臨席頂きました。

議長に郵便小田原の瀧山さん、書記に書記局の米山さんを選出し、丈夫屋の団交拒否・解雇との闘い、テクノウエーブ団交拒否との闘いをはじめ、非正規労働者、労働相談、23春闘の取り組みなど、この一年の活動の総括を全体で確認しました。そして、権利侵害と闘い全ての争議に勝利すること、生活破壊を許さず24春闘を闘うことを柱とした今年度の運動方針を討議。当日、追加動議として出された、同業・同種の労働者による支部・分会建設意見については、地域合同労組としての体制強化に向け、現状の組合運営課題を整理しながらともに検討を進めていくことを確認しました。

議事終了後には、来賓の皆さんからの連帯挨拶を頂き、全体で確認しました。また、7組合から頂いた連帯メッセージを会場で披露、確認しました。

大会終了後は会場を隣室に移し、数年ぶりに全体での懇親会を実施。参加組合員の紹介と一言挨拶のほか、来賓からもスピーチや歌の披露などで交流をはかりました。

円安、ウクライナ戦争等による諸物価の高騰、「新しい戦前」の中での軍事費増大という「貧困と戦争への道」に直面している今、生活を守るため、雇用を守るために、全ての組合員が全力を挙げて闘い続けていくことを参加者全員で確認しました。（全国一般神奈川書記局）



（沢口委員長の議案提案）